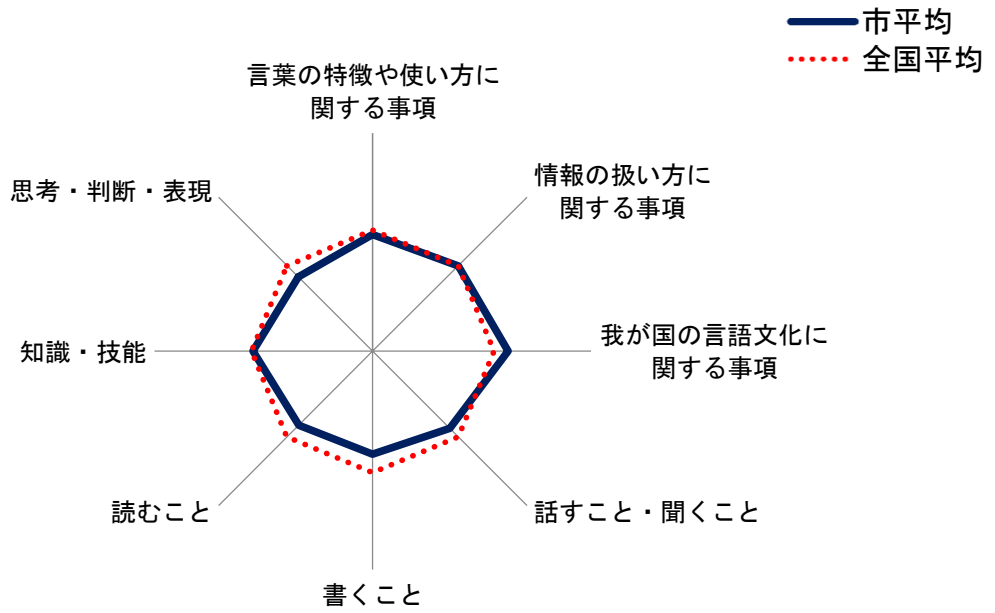
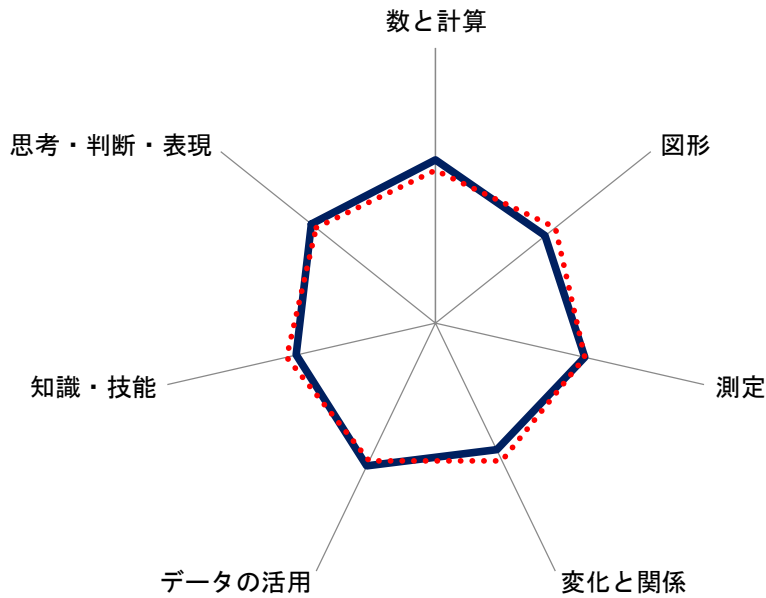


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

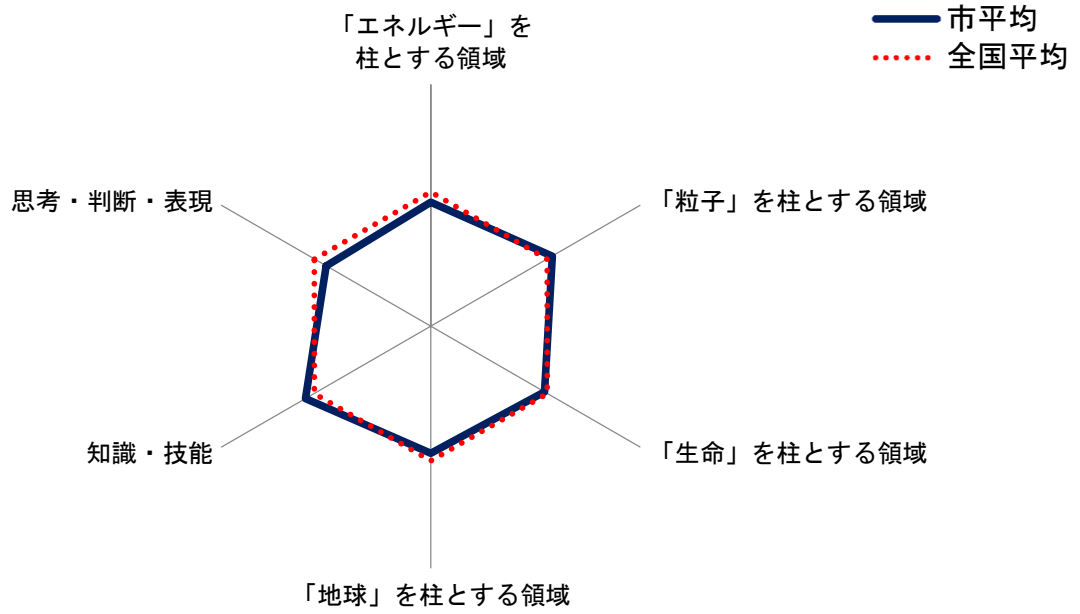


【算数】

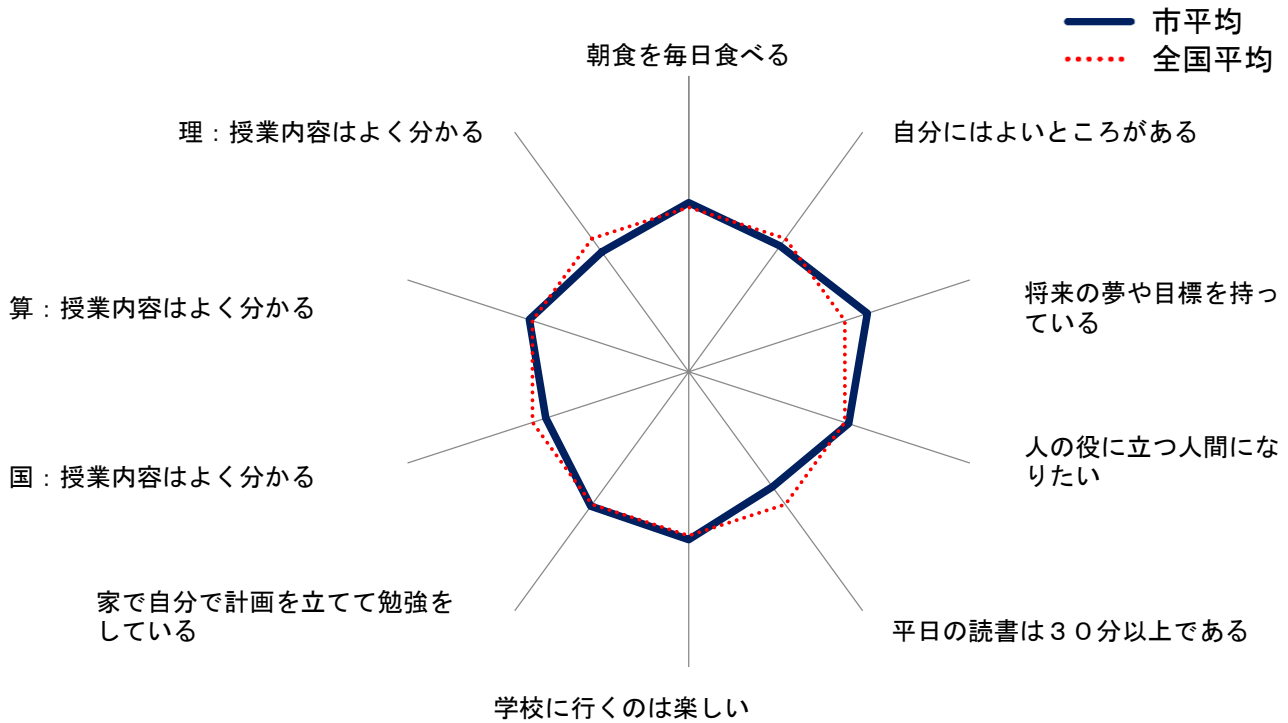


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「我が国の言語文化に関する事項」、算数の「数と計算」「データの活用」、理科の「『粒子』を柱とする領域」の項目は全国平均を上回っているが、それ以外の項目は下回っており、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後、学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、各教科における知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

児童質問紙調査では、「朝食を毎日食べる」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」の項目が前回調査と比べて改善傾向にある一方、「平日の読書は30分以上である」、国語、理科の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を下回っており、今後、読書活動のより一層の充実と児童一人一人に応じた学習の充実を図る指導の推進が望まれる。